



発行所
熊本日日新聞社
〒860-8506
熊本市世安町172
☎代表(096)361-3111
© 熊本日日新聞社 2009

号外

ご購入のお申し込み ☎0120-374625

詳しくは熊本日日新聞
朝刊をご覧ください

北朝鮮「ミサイル」発射

東北上空通過 迎撃目見送り



3月29日に撮影された北朝鮮・舞水端里のミサイル発射施設の衛星写真。ミサイルとその影を確認することができる (デジタルグローブ・I S I S提供・共同)

北朝鮮は五日午前十一時半ごろ、日本海側の咸鏡北道舞水端里の発射施設から長距離弾道ミサイルとみられる飛翔体を発射した。日本政府はミサイルが東北地方上空を通過、一段目は秋田沖の日本海に、二段目は太平洋上に落下したと予測している。自衛隊の迎撃措置は取らなかつたと発表、落下物などの被害は確認されていない。北朝鮮は事前通告通り「人工

衛星」打ち上げのためのロケット発射と発表する見通しだ。政府は麻生太郎首相が安全確認などを指示、情報収集を急ぐとともに警戒を強化している。政府は発射に対し「重大な挑発行為だ」と非難。「人工衛星」でも「弾道ミサイル計画に関連するすべての活動停止」を求めた国連安全保障理事会決議違反として、安保理協議に持ち込み、新決議



採択を目指す。日米両政府などは仮に人工衛星打ち上げ目的のロケットでも、米アラスカ州を射程に収めるとされる長距離弾道ミサイル「テポドン2号」と実質的に同じで安全保障上の脅威と分析。北朝鮮は核兵器保有も宣言しており、オバマ米政権と有利な交渉を進めるために米側をけん制する狙いもありそうだ。